



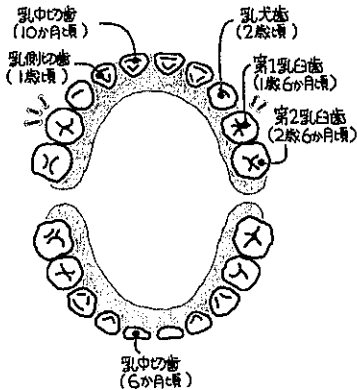
# みがいてあげよう 子どもの歯

監修：倉治 ななえ（クラジ歯科医院院長・歯学博士）

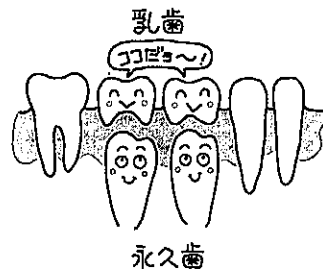
## 1歳6か月頃のお子様の保護者の方へ

1歳6か月頃になると、一般的に第1乳臼歯が生えてきて、上下の奥歯のかみ合わせができ始め、特にむし歯への注意が必要となってきます。まだ自分の歯を自分の力では守ることのできない子どものむし歯を予防するには、保護者のケアが大切です。丈夫でよい歯並びを目指すために、正しいむし歯予防の知識を身につけ、実践しましょう。

### 1歳6か月頃 第1乳臼歯が生えてくる (12本になる)



### 乳歯のむし歯予防が永久歯の歯並びをよくします

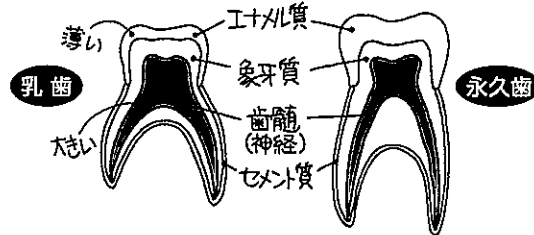


永久歯は、乳歯の根っこを溶かしながら生えてきます。乳歯には永久歯に「ここがキミの生えてくる場所だよ」と正しい位置へと導く役割もあります。



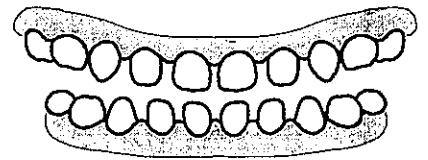
永久歯  
乳歯がむし歯になって早期に抜けてしまうと、将来的にスペースが不足するなどして、永久歯は正しい位置に生えることができなくなります。

### 乳歯と永久歯の違い



乳歯のエナメル質は、永久歯に比べて薄くて弱く、デリケート。だから、むし歯になりやすいのです！

### 理想的な乳歯の状態



1本1本の乳歯の前歯にはすき間があり、永久歯がきれいに並ぶためのスペースがあります。

### むし歯ができるしくみ

- むし歯菌（ミュータンス菌）が、口の中に残った食べ物から糖分をとり込む
- むし歯菌は、ネバネバした物質を出してむし歯菌の巣であるプラーク（歯垢）をつくる
- プラークの中のむし歯菌が、酸を吐き出す
- エナメル質が酸によって溶かされてむし歯になってしまう

### むし歯になりやすい 乳歯はココ！

1～2歳までの乳歯では、歯ブラシの毛先が届きにくい歯と歯の間や歯の根元、下の前歯に比べてだ液による洗い流す作用が届きにくい上の前歯がむし歯になりやすいのです。

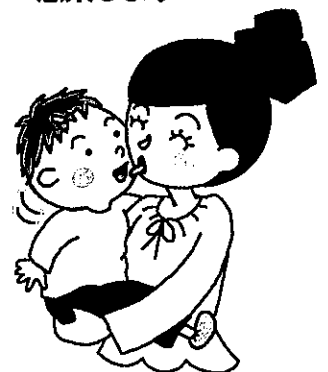


写真提供：クラジ歯科医院



上の前歯のつけ根の白い部分（白濁）が初期のむし歯。この段階なら歯みがきなどで治ります。

### ミュータンス菌は 感染します



むし歯菌の多くは保護者など身近な人の「だ液」を通して感染します。大人がかみ砕いた物を口移して与えることや、スプーン、コップなどを共有するのは避けましょう。